

ラテンアメリカ、途上国における地方自治

講演 山崎圭一 横浜国立大学大学院教授

最初に簡単に歴史を振り返ります。発展途上国、とくにラテンアメリカの16～19世紀の地方自治はどのようなであったか。19世紀のブラジルは立憲君主制だったという点で、明治時代の日本と似た面がありました。次に現代の話になりますが、日本の保守政治家の質の劣化は「途上国化」してきたとの見方も増えています。まるでカルト教団の中に政党があるようで、その汚染政党が国会を支配する日本の状況は、先進国といえるのでしょうか。最後に「グローバルサウス」（途上国全体）についてです。そこでは進んだ経験が生まれています。近年のブラジルでは、百数十の基礎自治体で、住民が参加して市の重点政策分野を選定する「参加型予算」の仕組みが構築され、住民自治の発展が見られるようになりました。



途上国における地方自治の歴史と現状について報告し、日本の地方自治のあり方を模索します。

日時 6月28日(土) 14:50～16:50

※講演の前に「地方自治研究所総会」を開催します

13:30～14:30

講演会はどなたでも参加できますが、総会は会員が対象です。

場所 男女共同参画センターあざれあ 502 会議室

主催 静岡県地方自治研究所

事務局 静岡県地方自治研究所 〒422-8062 静岡市駿河区稲川 2-2-1 セキスイハイムビル 7F

054-282-4060 Fax282-4057 jichiken@s-jichiroren.com

お名前	電話（ — — ）		
総会のみ参加・記念講演のみ参加・両方参加		会員・非会員	